

認知症について知って知ってくださーい

☎地域包括支援センター ☎42・12001

認知症は、年をとると誰でもかかりやすくなります。年をとれば誰でも、もの忘れが多くなりますが、認知症は老化ではなく脳の病気です。覚えておくことができなくなり、日々の生活に支障が出てくるようになります。

普通の「もの忘れ」と「認知症」の違い

年をとってから起こる普通の「もの忘れ」と「認知症」によるもの忘れには違いがあります。例えば、朝ごはんは何を食べたか思い出せないといった体験の一部を忘れるのは普通のもの忘れですが、朝ごはんを食べた体験全体を忘れてしまう場合、認知症が疑われます。

加齢によるもの忘れでは、人の名前が思い出せない時、何かのきつかけやヒントがあれば思い出すことができます。しかし、認知症の場合は、ヒントがあっても、思い出せないこともあります。さらに、時間や場所、人の見当をつける機能(見当識)の低下が起こります。

アルツハイマー型認知症

一番多いタイプの認知症です。脳の機能が全般的に低下していきま

す。症状は、ゆっくり進行しますが、症状が進むと人格が変わってくることもあります。

脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などの病気で、脳の一部分の働きが失われることで発症します。症状が段階的に進みます。「レビー小体型認知症」

前頭側頭型認知症

脳の前頭葉や側頭葉が委縮して起こります。理性や感情がコントロールできなくなり、万引きや信号無視など反社会的な行動を起こすこともあります。

認知症は早期発見・早期対応が大切です

市では、認知症の早期発見・早期対応のため次のような事業を行っています。「もしかして認知症かも?」と思ったら、かかりつけ医や、「もの忘れ健康相談」などの相談窓口をご利用ください。

もの忘れ健康相談(要予約)

医師による、もの忘れ健康相談を毎月第4火曜日に実施しています。【予約・問い合わせは地域包括支援センターへ】

認知症初期集中支援事業

おおむね40歳以上で、認知症が疑われたり、認知症であっても、医療や介護サービスが中断している人に対して、地域包括支援センター職員がご家庭を訪問し、必要なサービスが受けられるように支援いたします。

認知症の人とその家族を支える取り組みについて

●認知症サポーター養成講座
認知症の正しい理解と適切な対応ができるよう認知症サポーター養成講座を開催しています。5人以上のグループであれば、どなたでも受講が可能です。地域包括支援センターまでお問い合わせください。

●認知症カフェ

市内には、3カ所認知症カフェが設置されています。認知症カフェは、認知症の人が集う所ではなく、認知症の人やその家族も安心して気軽に参加できる居場所であり、専門職が認知症の相談に乗ってくれる場所です。ぜひ、一度足をお運びください。

●オレンジカフェ

▽場所Ⅱ松本クリニック▽開催日
市内には、3カ所認知症カフェが設置されています。認知症カフェは、認知症の人が集う所ではなく、認知症の人やその家族も安心して気軽に参加できる居場所であり、専門職が認知症の相談に乗ってくれる場所です。ぜひ、一度足をお運びください。

地域で敬老会を開催します

多年にわたり、地域の発展に寄与されてきた高齢者の方々に感謝し、地域ぐるみで長寿を祝うことを目的に、敬老の日前後に敬老会が、まちづくり連絡(推進)協議会や自治会単位で開催されます。毎年、地域毎の特色や趣向を凝らした敬老会が開催されており、多くの対象者の皆さんからご好評いただいています。

地域コミュニティの希薄化が問題となっている中、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けるためには、地域の「絆」がますます重要となります。



「深めよう地域の絆 みんなで支え合う やさしいまち 赤穂」を目指して

9月は高齢者保健福祉月間

高齢者福祉についての関心と理解を深め、高齢者自らの生活向上意欲を促すため、9月15日は、老人福祉法上「老人の日」と定められ、9月15日～21日までの1週間を「老人週間」として全国各地で長寿を祝う行事が行われています。

なお、「敬老の日」は、9月の第3月曜日となっており、今年は9月18日です。

市では、9月1日に、市長、市議会議長、社会福祉協議会理事長、自治会連合会長が、市内最高齢者宅を訪問し長寿をお祝いしました。

○男性最高齢・南野中

宮本 幸夫さん(104歳)

○女性最高齢・西有年

原田 そのさん(109歳)

○最高齢夫婦・西有年

上山 武男さん(92歳)
あさのさん(103歳)

敬老祝金等が贈呈されます

【赤穂市祝金】

米寿(88歳) 2万円

昭和3年9月17日～

昭和4年9月16日生まれの人

白寿(99歳) 3万円

大正6年9月17日～

大正7年9月16日生まれの人

【兵庫県祝品】

100歳 知事の祝状・記念品

大正6年4月1日～

大正7年3月31日生まれの人



昨年の敬老会の様子(塩屋)

●敬老会対象者数(平成29年7月31日現在)

地区名	対象者数	男	女
赤穂	1,296	481	815
城西	851	303	548
塩屋	1,308	496	812
西部	536	228	308
尾崎	1,224	479	745
御崎	582	245	337
坂越	784	317	467
高雄	414	151	263
有年	664	245	419
合計	7,659	2,945	4,714

※対象者 平成29年9月15日現在で満75歳以上になる人(昭和17年9月16日以前に生まれた人)



昨年の敬老会の様子(高雄)

地域のふれあいを大切にした敬老会を開催することで、地域の「絆」を深めるきっかけになればと思います。対象者の皆さんは、ぜひご参加のうえ、楽しいひと時をお過ごしください。

認知症啓発イベントのお知らせ
認知症啓発イベントRUN伴(リンとも)が開催されます。
▽日時Ⅱ10月21日(土)午後2時～5時30分▽場所Ⅱ武家屋敷公園(赤穂城内及び市内各地)▽内容Ⅱ認知症関連ブース、認知症サポーター養成講座、金管バンド演奏、赤穂城ライトアップほか
「RUN伴」は、認知症の人と一緒にタスキをつなぐ体験を通じて、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進する活動です。皆さんも、認知症啓発力ラーであるオレンジ色の物を何かに身に付けて参加してみませんか。